

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●製品落下及び転落のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

【施工前の確認】

・バルコニーの奥行きについては、支柱位置が軒げたより先に出ていないことを確認してください。
(屋根置き式の場合)

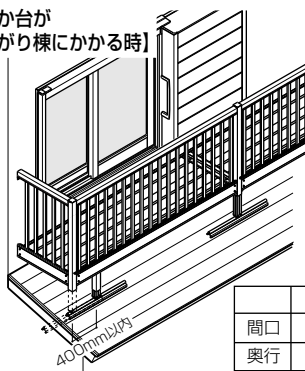
【部材の固定】

・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

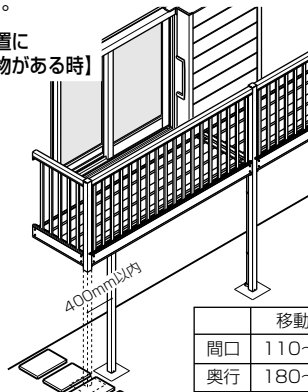
■取付け上へのお願い

- 本製品の施工に際しては、アクトステージA型の長さセットに同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。
- この部品・部材は、支柱の位置に障害物があったり、納まり上の問題により支柱を移動しなければならない場合に使用します。
- ※支柱の移動範囲は、間口(L寸法)・奥行(D寸法)とも400mm以内とします。
- ※中間柱の移動は危険ですで行わないでください。

【つかいが下がり棟にかかる時】



【柱位置に障害物がある時】



	移動範囲
間口	75~400
奥行	75~400

	移動範囲
間口	110~400
奥行	180~400

■取付け手順

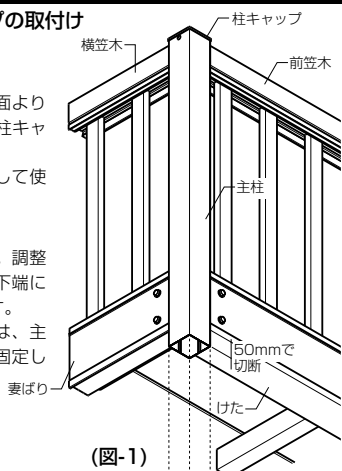
1 柱の切断と柱キャップの取付け (図-1・2)

【柱建て式の場合】

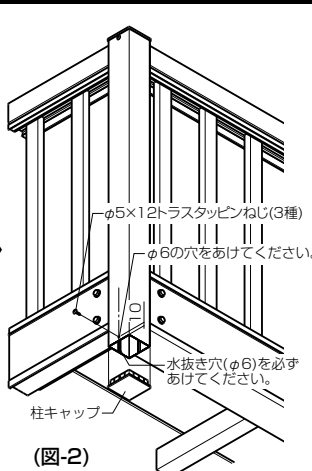
●移動する支柱をけたの下面より50mmで切断し、下端に柱キャップを取り付けます。
※切断した柱は、移動柱として使用します。

【屋根置き式の場合】

●支柱の切断はありません。調整脚をいったん抜き取り、下端に柱キャップを取り付けます。
※柱キャップ取り付けの際は、支柱に穴あけをし、ねじで固定します。



(図-1)

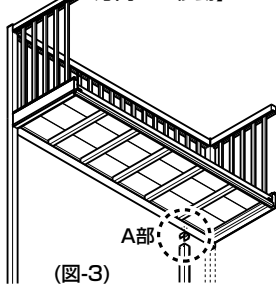


(図-2)

2 移動柱の固定(図-3・4)

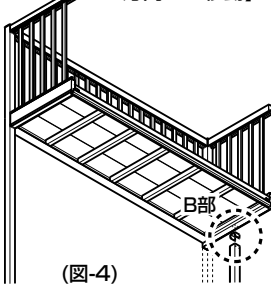
- ①移動柱固定金具の固定ねじ穴をあけます。
※奥行き方向に移動する場合は、妻ばりのフィンを71mm切り欠きます。(図-4)
- ②移動柱固定金具をねじ止めします。(図-4)
- ③移動柱へ移動柱固定金具固定穴をあけます。(図-3・4)
※屋根置き式の場合は、同梱の移動柱に取付け穴があけてあります。抜き取った調整脚と組み合わせて取り付けください。
※移動柱を取り付ける際には、移動柱をけた及び妻ばりの端部に合わせて、移動柱固定金具で取り付けます。

【開口寸法(L寸法)の方向への移動】



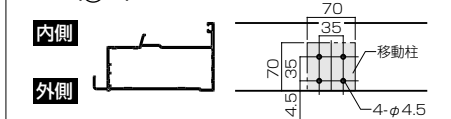
(図-3)

【開口寸法(D寸法)の方向への移動】

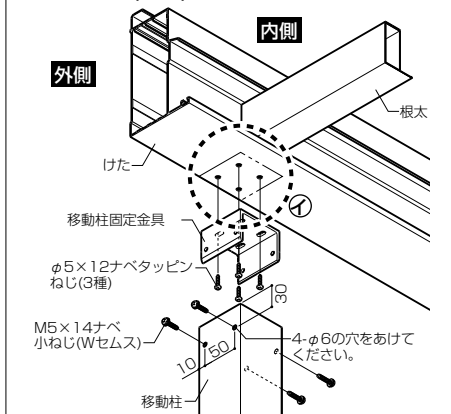


(図-4)

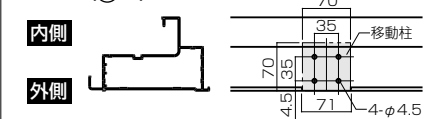
■けた(㉑部)加工詳細



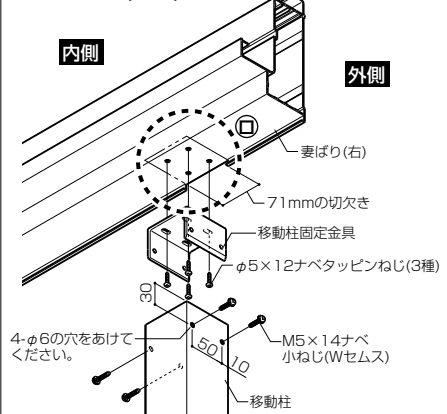
■A部詳細図(図-3)



■妻ばり(㉒部)加工詳細



■B部詳細図(図-4)



3 筋かいの取付け(屋根置き式)(図-5・6)

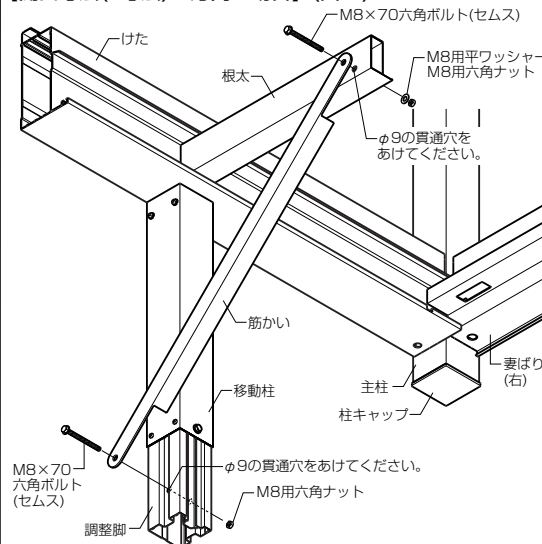
【開口(L寸法)方向移動の場合】

●筋かいを調整脚と根太の側面に取り付けます。(図-5)

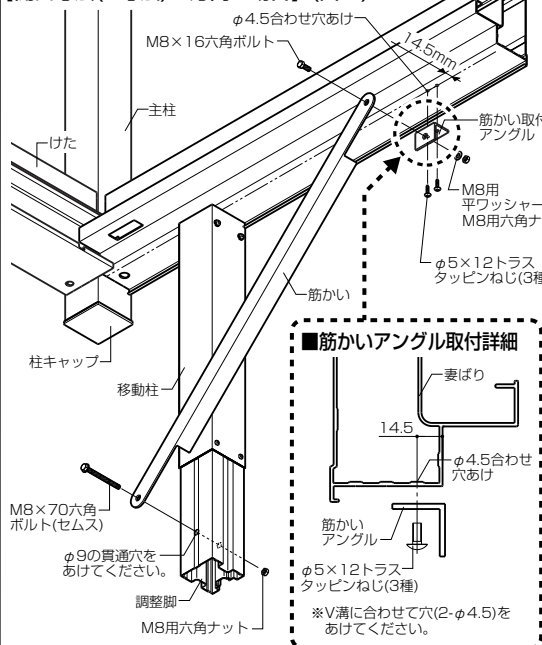
【奥行(D寸法)方向移動の場合】

●筋かいを調整脚と妻ばりの下部に筋かい取付けアングルを用いて取り付けます。(図-6)

【開口寸法(L寸法)の方向の場合】(図-5)



【開口寸法(D寸法)の方向の場合】(図-6)



■筋かいアングル取付詳細

